

## 保育のヒント～「科学する心」を育てる～

### たくさんの疑問からたくさんの発見／社会福祉法人上名福祉会つるみね保育園

シャボン玉遊びで、子どもたちはどのようなことに心を動かしているでしょう。

この事例では、雨が上がり始めたシャボン玉がいつもとは違う様子に、子どもも保育者も驚き、感動しています。同時に、不思議さや疑問を感じて、連日シャボン玉を試す探求に結び付きました。保育者が温度や湿度に興味をもつ環境にしたことは、子どもたちの気付きを豊かにしています。シャボン玉をよく観て、水との関係を言葉にしている子どもの姿から、「科学する心」が育まれる体験を捉えることができます。



### ○ たくさんの疑問・発見（シャボン玉遊び）／5歳児

4歳児の保育者から園近くの空き地に大きな水溜まりがあり、そこに沢山のオタマジャクシがいることを聞く。様々な生き物や虫に興味をもっている時期に実体験できる良い機会だと思い、早速5歳児と出かける。

#### ✦ 1.きっかけ

雨上がりの中で、シャボン玉遊びをする。

いつもと変わらない様子で始まったが、シャボン玉が割れずに、どんどん増えていった。たくさんのシャボン玉がいつまでも消えずに漂う様子に「ウォー」と子どもも保育者も驚きの声が出る。3・4歳児が保育室から出てきて、はだしで飛び出していった。

**読み取り** 目の高さに漂い、いつまでも割れないシャボン玉に、子どもたちは驚き、感動している。子どもと共感した保育者は「雨のせいかもしれない」「今までは、晴れの日にはシャボン玉遊びをしていた」と気付いた。



#### ✦ 2.雨の日はシャボン玉

連日、シャボン玉をすることで「雨の日や湿度が80%を超える日はシャボン玉が割れにくい」と、発見した子どもたちは、天気や湿度計を気にしたり、シャボン玉の割れる様子、動く様子などをよく観たりするようになる。

「やっぱり、雨の日は、すごいよね。いつまでも割れないよ！」

「まだ飛んでるよ。雨に当たっても、なかなか割れないね！」

「ほんとに、シャボン玉は、雨の日が面白い！不思議だなあ！？」

「雨が降れば、水たまりもできるし、面白いことがいっぱいだね！」

「シャボン玉がユラユラ流れていくよ！みんなでいっぱい浮かべようよ！」

「落ちてても割れないし、シャボン玉も雨の日がうれしいんだよ！」

デジタル計には、「快適」、「熱中症注意」など、4つのマークがあり、蒸し暑さを感じた時など、先を争うように点検し、「熱中症注意」が表示されていると職員室へ報告に来るようになる。



**読み取り** デジタル時計の湿度を自主的に見て自分たちの健康に生かす習慣、これこそ、遊びと学びが融合した保育により「科学する心」が生まれ、生活にまで生かされたと考える。

### ✦ 3.水たまりの不思議な魅力（シャボン玉で発見！）

「水たまりで面白いことができる」と気付いた子どもたちは、一心に泡を見つめ、いろいろなことをつぶやいている。

「先生、早く早く！シャボン玉が浮かぶよ！」「おーい、みんな、シャボン玉が消えないよう」「こっちの乾いた場所はすぐに消えてしまうよ」「ほんとだ！水溜まりだけ消えない！不思議だな？でも、面白い」「ビールになったよ」「シャボン玉は水がある場所が好きなんだ」「分かった！シャボン玉は、水たまりと仲良しなんだ！雨が降らない時は、水たまりを作って遊べばいいんだ！」

この日以来、晴れた日は、空に飛ばすことより、水たまりを作り、そこにシャボン玉を浮かべる遊びが主になった。



**読み取り** シャボン玉と水との関わりに関心が向けられる大きなきっかけになった。

### ✦ 4.シャボン玉人間

「水があれば、シャボン玉人間になれるよ！」

「ぼく、シャボン玉人間にしたいよ」

体や洋服をぬらすと、シャボン玉が割れないで、くっ付くということ、遊びを通して学ぶことができた子どもたちは、さまざまところにシャボン玉をくっ付けて楽しむようになった。

**読み取り** 夏ならではの遊びを通し、自分の体で、不思議体験を続けている。

笑顔あふれる子どもたちの姿は、遊びながら「科学する心」が育まれる姿であると考えている。



無断転載を禁ず。引用する場合は下記を必ず明記願います。

「(C)公益財団法人 ソニー教育財団

ソニー幼児教育支援プログラム 幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」